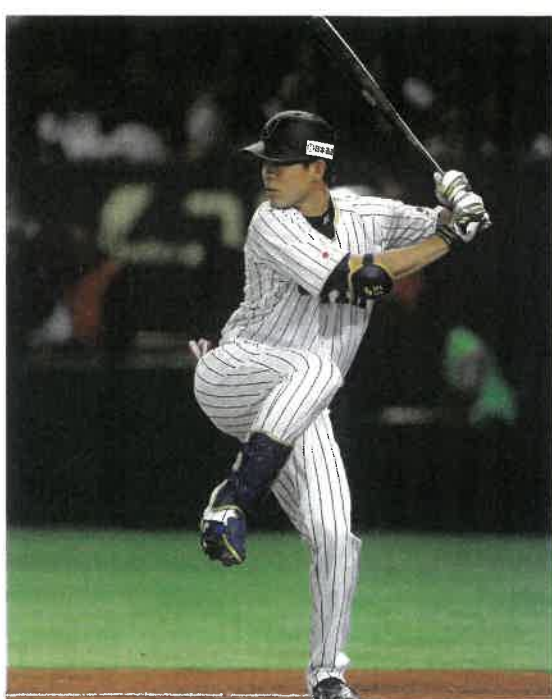


野球・ソフトボール



▲2008年北京大会で金メダル獲得の日本は連覇がかかる



▲稲葉篤紀監督が率いる「侍ジャパン」が悲願を達成するか

	7/22	23	25	26	27	28	29	30	31	8/1	2	3	4	5	6	8			
時間	9:00~ 17:00 (3試合)	9:00~ 17:00 (3試合)	10:00~ 16:30 (2試合) 20:00~ 22:00 (1試合)	10:00~ 16:30 (2試合) 20:00~ 22:00 (1試合)	10:00~ 16:30 (2試合) 20:00~ 22:00 (1試合)	13:00~ 15:00	20:00~ 22:30	12:00~ 15:00	19:00~ 22:00	12:00~ 15:00	12:00~ 15:00	12:00~ 15:00	19:00~ 22:00	12:00~ 15:00	19:00~ 22:00	19:00~ 22:00	12:00~ 15:00	19:00~ 22:30	
男子								予選	予選	予選	予選	ノック	ノック	ノック	ノック	準決勝	準決勝	3位決定	決勝
女子	予選	予選	予選	予選	予選	3位決定	決勝												

※7月22、23、29日は福島あづま球場で開催、ノックはノックアウトステージ

◎野球

セッションタイプ	A	B	C	D
予選(男子) ^{※1}	13,500円	11,000円	7,000円	4,000円
予選(男子) ^{※2}	15,500円	12,000円	8,000円	4,000円
ノックアウトステージ(男子)	23,000円	18,000円	12,000円	6,000円
準決勝(男子)	31,000円	24,000円	16,000円	8,000円
3位決定戦(男子)	45,000円	36,000円	20,000円	9,000円
決勝(男子)	67,500円	54,000円	30,000円	10,000円

◎ソフトボール

セッションタイプ	A	B	C	D
予選(3試合)(女子) ^{※1}	12,500円	10,000円	7,000円	3,500円
予選(1試合)(女子) ^{※2}	8,000円	7,000円	5,000円	2,500円
予選(2試合)(女子) ^{※2}	12,500円	10,000円	7,000円	3,500円
3位決定戦(女子)	18,000円	14,500円	8,000円	4,000円
決勝(女子)	25,500円	20,000円	12,800円	7,500円

※1:本セッションは福島あづま球場が会場となります。

※2:本セッションは横浜スタジアムが会場となります。

ここに注目!

野球は2008年の北京オリンピック以降、WBCやプレミア12など、以前に比べ国際大会が多く開催されるようになりましたが、過去に監督を務めた長嶋茂雄や星野仙一らそうそうたる面々が「日の丸を背負う重み」を感じ、苦戦してきた過去があります。やはりそうした思いは、ほかの大会と比べると段違いだと思います。また、プロ野球のシーズン中に大会が開催されるため、出場する選手のコンディションにも注目したいですね。(佐野慎輔)

手に汗握る駆け引き
スーパードラマにも注目
オリンピックの野球は、世界的普及度が低いことや女性の同一競技がないなどの理由で、2008年北京大会を最後に正式種目から除外されていたが、2020年東京大会では開催都市提案による追加種目として実施されることが決定した。

日本では長らく国民的スポーツとして親しまれてきた野球だが、近年はサッカーなどの別競技に押され、競技人口も減少している。しかし、まだまだ中高年のファンを中心に、日本ではメジャースポーツであることは間違いない。野球は2つのチームが攻撃と守備を交代しながら勝敗を競う競技で、攻守交代を9回繰り返した段階でより多く得点したチームが勝者となる。同点の場合は延長戦が行われるが、現在は延長11回以降得点の入りやすい状況から攻撃を始める「タイブレーク」が導入されている。

豪国・地域が多い。近年はオランダなどの南ヨーロッパの国やオーストラリアなども力をつけているが、出場チーム数は6カ国と少数精鋭の大会となる。

過去5回の大会では、キューバが3回金メダルを獲得し、アメリカ、韓国が一度ずつ優勝している。日本の金メダルは公開競技時代の一度だけで、銀と銅が各1回。プロの参加が可能となった現在は、「侍ジャパン」として毎年強化試合を行っており、地元開催の今回は金が至上命題となる。